

めぐみ厚生センター センターだより

第 309 号

発行 2009年1月15日

佐賀市緑小路1-3

社会福祉法人

めぐみ厚生センター

めぐみ園 0952(34)7722

富士学園 0952(63)0107

ウイズ富士 0952(51)0063

発行者 栗林 恵一

事務局 0952(25)2797

印刷所 (株)古川総合印刷

「変」について思う



社会福祉法人めぐみ厚生センター

理事長 栗林 恵一

新年あけましておめでとうございます。昨年は相変わらぬいろいろな予期せぬ出来事が起こり、これから先の日本は、あるいは世界がどのような方向へ流れて行くのか全くわからない、混沌とした状況であります。

そのような中で、昨年末に日本漢字能力検定協会は世相を最も反映したその年の漢字に「変」が選ばれたと発表し、京都の清水寺で大きく書かれたことは記憶に新しいと思います。「政治の変(首相が変りすぎます)」「経済の変(金融不安、株値、円高などの大変動)」「生活の変(食の安全への意識の変化と物価高の生活変化)」「気候の変(気候異変による地球温暖化やゲリラ豪雨などの天地異変)」「未来への変(ノーベル賞やオリンピックの日本人のふんばりに時代変化のきざし)」などが

反映されたようです。

では、めぐみ厚生センターの「変」はどうでしょうか？様々な状況の変化に対応してケアホームの増設、新体系移行への問題、あるいは法人役員・施設職員人事の交代等、変化しつつあります。その変化が良い方向へ向かうようにと願っております。また常により方向へ導くには日頃からの情報集めが必要ですし、その情報を正しく分析しとりいれて行かねばなりません。これはただ単に世の中の変化を追うということだけでなく、めぐみ厚生センターの中心である利用者一人ひとりの変化を正しく理解するということが重要だと思えます。利用者の方々も年を重ね、高齢の方が増えてきています。あるいはいろんな病気をかかえている方もいらつやいます。天に召される方も増えてきています。そういう状況の変化の中で、私たちは神様

からいただいた大切なそれぞれの命を、それぞれの生活を守らなければなりません。そのためには利用者の変化をしっかりと把握し、また世の中の変化をしっかりと見据え、利用者とのサービスマス(奉仕)を結びつけて行かねばなりません。利用者の方にとつて何がBest(ベスト)であるのかを常に考えながら、よりBetter(ベター)なサービスマスを提供出来るように努力していかねばならないと思っております。

このように「利用者の方々のことを第一義に考え、キリストの愛の精神で奉仕する」という当法人の基本理念は不変です。このことは世の中がいかに変わろうとも、決して変わらぬものであり、また変えてはいけない大切なことでもあります。

このことを常に意識して、変わらぬ愛を持って、法人関係者一同が一丸となつて前進していきたいと思えます。どうか皆さま今年もあい変わらずぬご指導ご鞭撻、ご協力よろしくお願いたします。



めぐみ園

ふれあいファミリーコンサート

十一月二十三日、東与賀町ふれあい館で行なわれた「ふれあいファミリーコンサート」に招待を受け十名の利用者さんと職員二名で見に行きました。コンサートは、地元東与賀で活動されている「ボコアポコ」が出演。利用者の皆さんも良く知っているアニメソングやテレビ等でよく流れる曲などを演奏され、口ずさむ利用者さん達の姿も見られました。

また会場は、多くの家族連れの姿で満員。大変和やかな楽しいコンサートでした。

ご招待頂いた関係各位の皆様、ありがとうございます。帰りには、きれいなお花まで頂き感謝しております。

♪ すばらしい音色をありがとうございました。♪



プレゼント交換会

十二月二十四日、クリスマスプレゼント交換会が開かれました。これは利用者さんたちが持ち寄ったプレゼントを、サンタに扮した職員がみなさんに配ります。トナカイを同伴にサンタさんが登場すると割れんばかりの拍手がおこりました。

一人ひとりに、サンタさんからプレゼントが渡されたあとは、ケーキとカフェオレでティータイム。みなさん満面の笑みをうかべ、とても楽しい時間をもつことができました。

サンタさんからのプレゼントが楽しみ!!



クリスマス礼拝・祝会

十二月二十六日、クリスマス礼拝・祝会が行なわれました。

第一部の礼拝では厳肅な雰囲気の中、富樫牧師による説教を聞き皆でクリスマスを迎えました。

第二部の祝会では、日頃より佐賀短期大学の林先生と共に練習を重ねた利用者の皆さんの楽器合奏があり、リズムカルな演奏に会場は一気に華やかな雰囲気になりました。続いてにちりん・新栄ボランティアの方々による合唱、佐賀女子高等学校バンド部の皆さんの演奏が披露されました。会場に広がる神秘的で美しいハンドベルの音色に皆さんうっとり聴き入り祝会の一ととを過ぎました。



厳かな雰囲気の中で

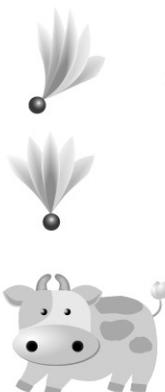


心に響くハンドベルの音色

めぐみ園での正月

一月一日、冬の外泊期間、めぐみ園で過ごした利用者の皆さんと職員とでおせち料理を食べました。テーブルには、食べきれない程のご馳走が並び、特にお正月料理の黒豆、栗きんとん、数の子などとても人気があり、皆さんは、美味しく食べていました。今年も健康ですこやかに過ごせるようお願いながら皆さんで楽しいひとときを過ごしました。

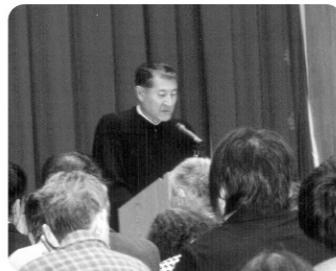
明けましておめでとうございます
めぐみ園でも
善き年、善きスタート!!



富士学園。 ウイズ富士

クリスマス礼拝・祝会

十二月二十五日、厳かにそして楽しいクリスマスのときを迎えました。礼拝では、富樫史朗牧師より「私たちと共におられる神」という説教をしていただきました。



クリスマスの意味を
教えて頂きました。



クリスマスを彩る演奏でした。

祝会の讚美ページェントでは、聖書朗読と聖歌隊の讚美歌でイエスキリストの誕生を喜び祝いました。また、今年も「レインボー音楽隊」によるコンサートが行われ、クリスマス音楽を楽しましました。

愛餐会では、今年も豪華な料理をバイキング式で心ゆくまで堪能し、一人ひとりお腹いっぱいになるまで食事を楽しましました。



どれを食べようかなー？

キャロリング

十二月二十四日、めぐみ教会から富樫牧師他、四名の聖歌隊がキャロリングに来園されました。聖なる夜に、心の中に讚美歌が深く沁み渡り心地よいひと時を過ごすことが出来ました。



皆さんで合唱されました。

私たち頑張りました

さる十一月一日、佐賀県総合運動場で開催されましたフライングディスク大会に参加されました。富士学園からは、武富幸治様、執行昭二様、大海尚子様に参加され、それぞれ大健闘でした。「あー、おしかった、また来年頑張るよ」と感想を述べられ、次回に向けて闘志メラメラです。



ミュージックスタジオライブ

十二月七日、富士学園のふれあい館にて「ミュージックスタジオ」のライブコンサートが催されました。



洋楽、演歌、ニューミュージックなど幅広い歌を堪能しました！

バルーンフェスタにて

稲刈りの終わった佐賀平野の空に無数のバルーンが飛び立つ十一月二日ドリームランド実行委員会事務局長今村輝子様から招待を受け、ウイズ富士より三十名の利用者の皆様が生け花コンテストを観覧されました。

バルーンフェスタ会場内に設けられたドリームランドのステージでは色とりどりの衣装を身にまとった人達による琉球太鼓の演奏が行なわれていました。その迫力に、利用者の皆様も食い入るように見つめられていました。演奏終了後には、利用者の皆様は実際に太鼓を叩かれる等初めての経験に皆様の顔にも笑顔が見えていました。沖縄へ行ったような気持ちになった一日でした。



迫力あるマーチに感激！

ふれあい

Xマス生け花三十年めぐみ園

十二月十日、溝田先生他門下生八名の方が来園され小原流のお花を生けて下さいました。高さ約一・七メートルのゴールドクレストやヒイラギ、サンキライ、ポインセチア等を使い飾り緑と赤、白を絶妙に配しクリスマス



題:「恵まれしものゝ饗宴」

聖句

愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。

(ヨハネの手紙 四章八節)

小城ウインドオーケストラ 訪問演奏会

十二月十三日、「小城ウインドオーケストラ」の皆様が訪問演奏のため富士学園に来園されました。富士学園・ウイズ富士の利用者が演奏を観賞し、クリスマス曲や童謡等に合わせて手拍子をうったり歌ったりされました。

普段は目にしない楽器もありその音色に聴き入っておられる方や、アンコールを希望される方もあり、大変盛り上がりました。貴重な経験になりました。ありがとうございました。

クリスマス交流会

十二月十八日、富士南小学校と富士学園活動ボランティアの皆様を迎えてクリスマス交流会がありました。



紙の輪つなぎどの班が長くできた?

皆様ありがとうございました (十一月・十二月分)

◎法人へ

- 日蓮宗佐賀県社教会様より 寄付
●小倉教会婦人会様より 寄付
●志免教会様より 寄付
●日本キリスト教婦人矯風会より 寄付
●枝松博展様より 寄付
●栗林恵一様より 寄付

◎富士学園・ウイズ富士へ

- 森永 春代様より 生け花奉仕
●野田 明利様より みかん寄贈
●長井 福雄様より お菓子寄贈
●原 恭子様より お菓子寄贈
●クリスマス祝会に来賓の皆様より 祝儀並びに物品寄贈

◎めぐみ園へ

- クリスマス祝会に来賓家族の皆様より 祝儀並びに物品寄贈
●(株)佐電工様より みかん寄贈
●福助食品様より もち米寄贈
●山代ガス様より 果物寄贈
●新栄婦人会様より 寄付
●諫山輝子様より 食器を寄贈
●山代ガス様より 佐賀善意銀行を通じて寄付

◎各施設へ

- 佐賀県共同募金会様より
●NHK歳末たすけあい義援金配分
●諫山真司様より 電波掛時計を寄贈

事業ガイド

- 《めぐみ園》
・生活介護事業「どりのむ」
・地域活動支援センター
《富士学園》
・ケアホーム8ヶ所

何でもコーナー

二〇〇八年は振り返り、皆さんにとつての重大ニュースとは一体どんなことでしたか?

中国産餃子事件や汚染食米、原材料の高騰による食料品の相次ぐ値上げなど、私たちの生活により身近な「食の問題」が大きくクローズアップされました。また、世界同時株安による不況が深刻化し、企業のリストラの報道が増え経済は激動の一年とも言えるでしょう。

二〇〇九年は、私たちの胸に残る明るいニュースの多い一年であってほしいと心から願っています。

あとがき

全国でインフルエンザが流行し始めています。基本となる手洗いうがい励行で、この寒い季節を乗りきっていきましょう。



外観はほぼ完成しました。



JK A競輪補助事業
による障害者ケアホーム
建設整備の進捗状況



三月の落成を目指して、内装の
整備に取りかかっています。



ゆるやかなスロープを配した玄関

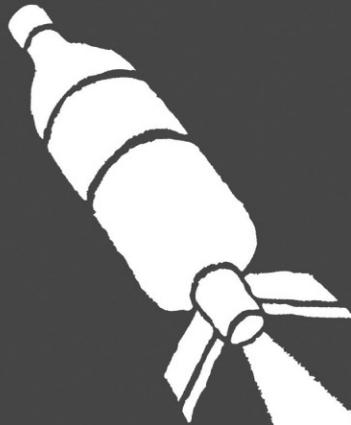


あわてないで乗車しましょう

社会見学・ドライブ・通院へとフル回転で
利用しています。

補助車輜





子供の発明×KEIRIN

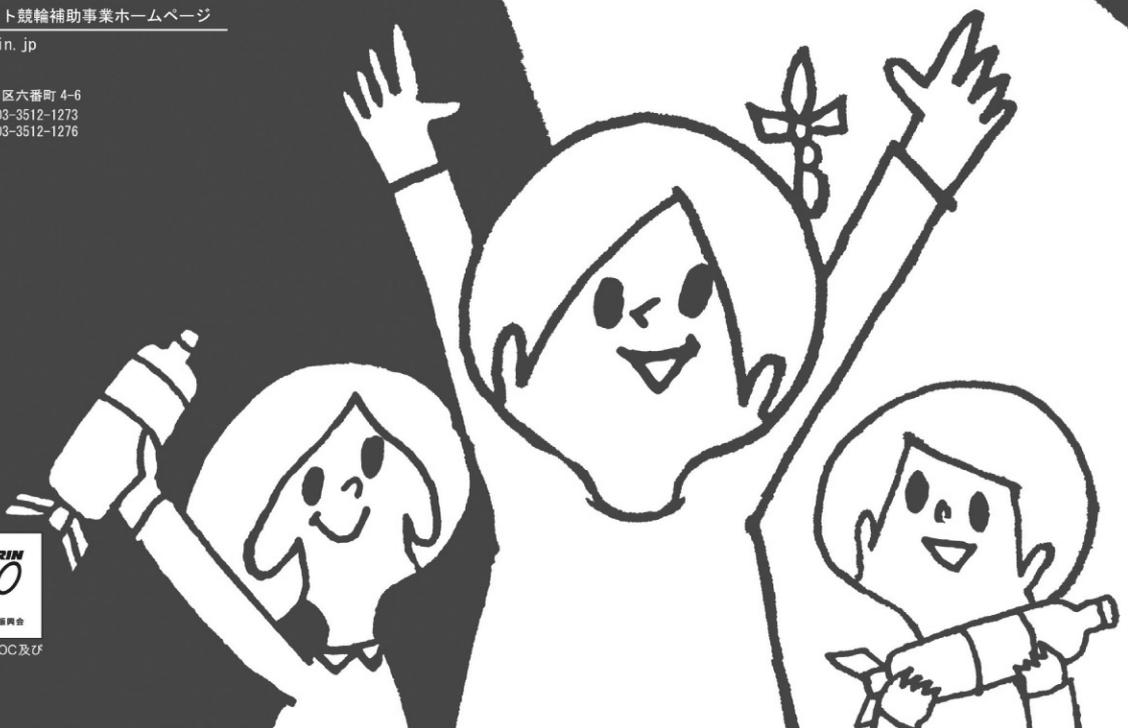
時代を変えるどんな発明だって、はじめは小さな好奇心。世界への疑問や、
宇宙へのあこがれ。そんな子供たちのドキドキやワクワクを、大きな輪に育てていくために。
ケイリンは、ペットボトルロケットの製作など少年少女の発明活動を支援しています。
出てこい、日本をおもしろくする未来の大発明家たち。



競輪の補助事業「RING!RING!プロジェクト」は走り続けています。

RING!RING! プロジェクト競輪補助事業ホームページ
<http://ringring-keirin.jp>

財団法人 JKA
〒102-8011 東京都千代田区六番町 4-6
機械工業振興グループ / 03-3512-1273
公益事業振興グループ / 03-3512-1276



日本自転車振興会(KEIRIN)はJOC及び
日本代表選手を支援しています。

財団法人 JKA